学校だより
せんだんの かぜ



学校教育目標「仲間と共に 学び、考え、行動する子　～ふるさとの今と未来をつなぐ～」
浜松市立二俣小学校（内山佳乃）　令和８年９月２９日

今日の一歩を始めよう！

2学期が始まって1か月が経ちます。

９月のシルバーウィークを、にぎやかに過ごしたり、お墓参りなどして静かに過ごしたりした様子を子供たちから聞きました。休み明け、どんな気持ちで子供たちは学校へ来たのでしょうか。

人は、元気な日もあれば、気持ちが重くなる日もあります。

私は、どんな気持ちの日でも学校に来ていいと思います。むしろ、学校に来てほしいと思います。

気持ちの重いときには、一人で抱えないで、誰かにお話ししましょう、と言いたいなと思います。

学校には、友達もいるし、子供たちの気持ちを大切にしたいと思っている職員がたくさんいます。

言いにくいことでも、話してくれていいのです。

子供たちには、

「つらいときには、自分を大切にする方法を選ぼう。 誰かに話すことは、その一つだよ。」

と伝えたいと思います。

子供たち一人ひとりが、この学校にとって大切な存在です。

体のどこかが痛ければ、お医者さんに診てもらわなければいけませんが、そうでなければ、どんな気持ちの日でも、学校にいていいのです。

学校に来て、「今日はこんな気持ちです。」とお話ししてくれていいのです。

聞いてもらえると、気持ちがすっとするかもしれませんし、また、一緒に考えることで、何か違った考えが浮かんでくるかもしれません。

何かがきっかけで、朝、気持ちが落ち込んだとしても、そのことで、始まったばかりの一日を諦めないでほしいと思っています。

絵本を紹介します。「ぼくはここにいる」 ピーター・レイノルズさんという人が書いたものです。



・自分だけ違う世界にいる気がする
・友達の輪に入りづらい
・朝、動き出すのが不安

みなさんにはこんなふうに考えてしまう日はありませんか。

紙飛行機という“小さな一歩”が、《ぼく》の世界をがらりと変えます。

まわりがにぎやかで、自分だけ世界がひとりぼっちに感じられる《ぼく》が、紙飛行機を通して、周りにいる人とつながる物語です。

「ここにいていい」「あなたは見えているよ」と、そっと自信をもたせてくれる絵本です。

うまくいかない日があっても大丈夫。また明日やり直せばいいからです。

自分のペースで、今日の一歩を始めてみましょう。

＊裏面はオータムコンサートのお知らせです。

本校卒業生 eji さんはじめ、アーテイストさんたちと児童との共演もあります。どうぞお越しください。